

持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	具体的な取組内容
					成果目標	目標値 令和6年度	基準年 ②は平成27年-令和元年 の5中3、③は令和2年	目標年 令和6年度	達成率	北海道農政事務所	
北海道	—	北海道花き振興協議会	花き(アルストロメリア)	令和3年度	活動区域における花きの10a当たり又は単位数量当たり労働時間の低減	1256.2 h/10a	1,332.7 h/10a	1,333.8 h/10a	-1.4%	<ul style="list-style-type: none"> 省力化機械・施設による省力化・低コスト化の実証 より精密な生育・開花制御技術、省エネルギー型効率的生産技術等の実証 実需者・消費者ニーズに対応した新品種の選定と安定生産・計画出荷のための栽培技術の実証 採花後から最終消費地までの日持ち性を向上させる品質管理技術や温度管理技術の高度化に必要な実証 消費拡大プロモーション活動 	<p>【花きの10a当たりの労働時間】ハウスの自動開閉装置の導入によりハウス内換気にかかる労働時間の削減は認められたものの、高温による病害虫防除に要する時間が増加し、大幅な労働時間の削減には至らず、目標未達成となった。</p> <p>【花きの10a当たり収量】EOD技術等の導入等により、カーネーションにおける生育(草丈・茎の太さ、分けつ数等)の促進効果は認められたものの、技術の普及に時間を要しているため、目標未達成となった。</p> <p>【花きの流通経路間におけるロス率(廃棄率)】鮮度保持装置の導入により流通経路間におけるロス率(廃棄率)が減少し、成果目標は概ね達成されている。</p> <p>【花きの新たな販売形態又は販路の拡大】これまで道内で実施していなかった「サブスク(定額制購入サービス)」が根付き、成果目標は達成されている。</p> <p>【花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量又は購入金額が増加した者の割合】生活必需品・食料品の高騰により、購入頻度や購入金額の増加の目標は未達成となった。</p> <p>未達成の目標については、今後目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。</p>
			花き(カーネーション)		活動区域における花きの10a当たり収量の増加	7,491.0 本/a	7,133.7 本/a	6,297.9 本/a	-233.9%		
			花き(デルフィニウム)		活動区域における花きの流通経路間におけるロス率(廃棄率)の減少	0%	3.9%	0.4%	89.7%		
			花き		活動区域における花きの新たな販売形態又は販路の拡大	1 ルート	0 ルート	1 ルート	100%		
					活動区域において花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量又は購入金額が受講前に比べて増加	30%	0%	16.7%	55.7%		

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。